

日本で見つけた おもしろいもの

留学生のカナダ人の ケンさんのお話 です。

日本の家の門や玄関に「木村」とか「伊藤」とか日本人の名前が書いてあります。これは「表札」といいます。誰が住んでいるかわかるように表札があります。普通は漢字で名字だけ書いてあることが多いんですが、時々、ローマ字で書いた表札もあります。

わたし 私は、日本で初めて表札を見たとき、どうしてこんなものがあるんだろうと不思議に思いました。カナダでは、家の前に表札はありません。家の前を通っても、そこにだれが住んでいるか、友達や親戚でなければわかりません。でも、日本ではここはだれかの家ということが、だれにでもわかるようになっています。日本の友達に聞いてみたら、郵便配達の人が困らないようにとか、初めて家に来る人にもわかりやすいようにするためじゃないか、と言っていました。でも、カナダでは、番地や通りの名前で郵便が届くし、友達の家を探すこともできます。だから、どうして表札が必要なのか、友達の説明を聞いても、よくわかりませんでした。

表札について、もう一つ不思議に思ったことがあります。表札に名字だけ書いてあるものがが多いんですが、中には、住所や家族全員の名前も書いてあるものもあります。それを見たとき、こんなふうに個人情報を家の外に出していいんだろうか、犯罪に利用されたりする心配はないんだろうか、と思いました。

こんなことを考えていたら、先日、偶然、テレビで表札についてのニュースをやっていました、ニュースによると、最近、マンションなどでは、玄関に表札を出さない人が増えているということでした。でも、一番の理由は「犯罪に利用されるのが不安だか

ら」というものでした。でも、その一方で、「表札をださないとだれが住んでいるのかわ

からないので、隣近所の人が不安になる。表札を出して、隣近所の人との

関係をよくしたほうがいいんじゃないか」という話もしていました。

それを聞いて、私は日本人が表札を出すのは、その家にだれが住んでいるかみん

なに知らせることで、隣近所の人との良い人間関係をつくろうと考えているのだと

おも思いました。

日本が安全な国だから表札が出せるのではなく、お互いに安心して暮らせるよう

に、安全のために表札を出す習慣があると言えるかもしません。

まちある街を歩きながら表札を見ると、日本人のいろいろな名字がわかっておもしろいの

で、ぜひみなさんも見てください。